

主な内容

- P2 | 豪雨災害の主な現状
- P3 | 町内道路等の通行止め情報
- P4 | 避難勧告・町営バス等の情報

大量の土砂や立木で埋め尽くされた「県道 寒河西川線」(吉川・根際地内)

災害のあった主要路線等の現状(主なところ) ※7月22日(月)午前10時現在



※復旧作業中の状況

状況報告⑤ 月山沢

国道 112 号線の「月山沢トンネル」西側出入口で土砂崩れが発生。町は関係機関へ復旧作業を早急に進めるよう強く働きかけており、近日中にも片側通行を実施する予定とのことです。役場から砂子関トンネル手前までは通行が可能で、その先へ行く場合は、山形自動車道の西川 IC から月山 IC までの区間を無料措置していますので、迂回路としてご利用ください。



状況報告⑥ 月山沢・上島地内

月山湖から仁田山牧場及び上島地内へ向かう「町道 仁田山・上島線」で土砂崩れが発生し「通行止め」の状態です。現在のところ復旧のめどは立っていません。仁田山牧場への迂回路はありません。上島地内へは「県道 大江西川線」を通り「上島橋」をご利用ください。



状況報告⑦ 大井沢・黒淵ほか

国道 112 号線から大井沢へ向かう「県道 大江西川線」の複数個所で土砂崩れや河川の氾濫、道路の崩落が発生しました。現在のところ、片側通行措置や仮設迂回路の設置によりこの路線で通行止めはありません。ほかには「町道 大井沢川線」の「不動橋」の流失や住宅の床下浸水などの被害も出ている状況です。

避難状況について

避難勧告により吉川第3・4町内の4世帯の方々が吉川第4町内会館に避難しています。また、大井沢黒淵地内の2世帯については避難準備区域に指定されました。

町営バスの運行について

土砂崩れにより通行止めとなっている国道112号線の月山沢トンネル以西の地域については、山形自動車道を通るルートで運行しています。また、寒河西川線を通る運行経路については国道112号線を通るルートで運行しています。詳しくは、町民税務課(☎0237-74-4118)までご連絡ください。

その他の被災について

現在確認している状況ですが、農地で70か所、林道で52か所の被害を確認しています。

今週も雨天が続く予報となっていますので、ひきつづき、ご注意ください。

災害のあった主要路線等の現状(主なところ) ※7月22日(月)午前10時現在



※復旧前の状況

状況報告① 海味・間沢川

間沢川へ向かう「町道 太郎若山線」は、土砂崩れによる土砂等は撤去されましたが、のり面崩落の危険性がまだ高いため「通行止め」のままです。また、土砂崩れにより電柱がなぎ倒され電線が切断されてしまったために電気と電話が不通状態でしたが、20日の13時42分に電気は復旧しましたが、迂回路は「林道 峰山線」ですが、通行する際は慎重に走行してください。



※復旧前の状況

状況報告② 吉川・根際ほか

土砂崩れのあった「県道 寒河江西川線」の西川浄水場南側と根際地内は復旧作業のため「通行止め」です。根際地内については、山の斜面に水分を含んだ土砂が堆積し巨大な岩石が杉の倒木にひっかかっていることから、路肩に土嚢を積み対策をしたうえで片側交互通行を実施する予定ですが、今後の天候によっては未定です。



※復旧作業中の状況

状況報告③ 小山・軽井沢ほか

入間から小山へ向かう「県道 小山海味線」の数か所で土砂崩れが発生。途中、路肩が崩れかけている箇所も数か所あり「一部片側通行」の状態です。軽井沢へ向かう「町道 大ひど軽井沢線」でも土砂崩れや「やびつ橋」の橋台裏の抜け落ちがあり、途中からは徒歩のみ通行可能となっていますが、近日中には復旧する見通しです。



※復旧前の状況

状況報告④ 岩根沢・水沢座

網取から水沢座へ上る「町道 桂林・沼の平線」。桂林集落から200mほど下ったところで土砂崩れが発生し、現在、土砂等の撤去作業を行っていますが「通行止め」の状態です。迂回路は「県道 岩根沢綱取線」を利用できますが、この県道でも土砂崩れが発生し、一部片側通行となっています。



入間の軽井沢地域へ向かう「町道 大ひど軽井沢線」にかかる「やびつ橋」。橋台裏が抜け落ち、路面下は空洞に

猛威をふるった記録的な豪雨とその爪痕  
町内の被災状況をお知らせします

町内の雨量の状況

観測地	累加雨量
海味	151mm
吉川	160mm
寒河江ダム	200mm
大井沢中村	249mm
大井沢日暮沢	286mm
志津	237mm

21日、各地を巡りました。町内各地の主な災害状況や道路等の復旧情報などについてお知らせします。

7月17日(水)の午後から降り始めた雨は約24時間降り続き、大井沢中村での累加雨量が観測史上最高の249mmを記録。町内各地では河川の氾濫や土砂崩れ、家屋の床下浸水、道路の冠水・崩落といった災害が相次ぎ、町は、18日(木)午前10時に「町災害対策連絡本部」を設置、同日午後4時には「町災害対策本部」に切り替え、被害の状況把握や復旧対応にあたってきました。

主な災害状況は、吉川根際地内と西川浄水場南側での土砂崩れによる「県道 寒河江西川線」の通行止めや、間沢川地内での土砂崩れによる「町道 太郎若山線」の通行止めなど、広範囲で同時多発的に発生した土砂崩れにより道路や電線・電話が寸断される被害などが確認されましたが、幸い、ケガや人命にかかわるような人的被害には現在のところ至っていません。町は、孤立集落の解消とライフラインの復旧に力を入れながら、国や県など関係機関へ迅速な復旧作業を強く働きかけています。この状況下、20日は吉村県知事が来町して被災現場を視察し、町議会も